

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1292200019		
法人名	有限会社 ホットライン		
事業所名	グループホーム めくもりの家		
所在地	〒277-0813 千葉県柏市大室244-1 (電話)04-7108-4194		
評価機関名	特定非営利活動法人 ACOBA		
所在地	我孫子市本町3-7-10		
訪問調査日	平成20年12月24日	評価確定日	平成21年1月27日

## 【情報提供票より】(平成20年12月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成18年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	15人	常勤2人, 非常勤13人, 常勤換算4.4人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000~60,000円	その他の経費(月額)	規定による	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(240,000円)	有りの場合償却の有無	有 / 2年	
食材料費	朝食	300円	昼食	500円
	夕食	800円	おやつ	200円
	または1日当たり		円	

### (4) 利用者の概要(12月10日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	1	要介護2	3		
要介護3	5	要介護4	0		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 80.2歳	最低	66歳	最高	90歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	柏厚生総合病院・山岡外科胃腸科・タカシマ歯科医院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は筑波エクスプレス柏の葉キャンパス駅から徒歩圏で、駅周辺では開発が進む一方昔からの住宅や団地等も多く、庭先には大きな樹木も残る恵まれた環境にある。開設3年目であるが代表は理想的なグループホーム作りに熱い思いを持ち、事業経営の傍ら昼間は福祉専門の大学に通い、夜間は夜勤業務をこなす等大変な努力家である。職員の育成には特に力を入れており、研修や資格取得には費用、時間両面で積極的に応援している。その結果、職員のチームワークも良く、それぞれが高い理想を持ってめくもりの家のサービスを支えている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価結果は職員間で直ちに話し合い、すべての指摘事項について改善に取り組んだ。課題7項目中6項目は解決し、中期課題であるターミナルケアについての取り組みも前進しつつある。利用者家族等のアンケート結果からも、顕著に改善の成果が窺える。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	外部評価を職員の気づきのチャンスと捉え、サービスの改善に繋げている。今回も主要職員4名がそれぞれの視点での自己評価結果を持ち寄り、48項目に及ぶ改善事項をリストアップした。運営に対する熱意の程が窺える。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は柏市のガイドラインに沿って3ヶ月に1度開催している。メンバー構成は利用者・家族・柏市地域包括支援センター・近隣3地区の各代表に加え、本年度より民生委員にも参加願う運びとなっている。外部評価の結果報告や改善への取り組み状況等も含めて、自由な意見交換の中でめくもりの家への理解を得るとともに、気づきを頂いている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族来訪時には管理者はシフト外でも極力出勤し、希望や質問を伺うような心がけている。ケアプラン変更時には必ず家族と面談し説明するとともに、毎月利用者ごとに健康状況や暮らしぶりについて家族宛に手紙を書き、往診記録等も添えている。月刊の「めくもりの家便り」は写真が多く、行事やスタッフ紹介等グループホームの状況が良くわかると好評である。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	グループホームの行事に近隣の住民を招待したり、年2回の防災訓練には近所の4家庭に協力いただくとともに、JA主催の農業祭や小中学校の運動会に参加する等地域との連携には積極的に取り組んでいる。代表と檀家役員交流により、隣接地利用についての地権者(檀家)の賛同も得られ、昨年利用者家族から苦情のあったゴミ問題も解決できそうである。本年4月より念願の町内会への加入も実現することとなった。

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	「ここで暮らして良かった」「ここは私の家」と 思っただけのようなぬくもりのある家族 "家 庭"を目指す、という創業の精神を理念としてい る。端的で解り易く思い入れのある理念である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関に掲示しパンフレットにもわかり易く 解説している。毎朝の朝礼前に唱和し（時には利 用者も一緒になって）、又幹部職員の日常の真摯 な語りかけや利用者への対応により、全職員に理 念が浸透していることが窺える。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地域 活動に参加し、地元の人々と交流するこ とに努めている	グループホームの行事や防災訓練に近隣の住民の 協力を得たり、JA主催の農業祭や小中学校の運 動会に参加する等地域住民との交流に積極的に取 組んでいる。本年4月より念願の町内会への加入も 実現する運びとなった。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	外部評価を職員の気づきのチャンスと捉え、改善 につなげている。昨年の評価結果は直ちに職員間 で検討し改善に取り組んだ。今回も主要職員4名が それぞれの視点での自己評価を持ち寄り、48項目 の改善事項をリストアップした。職員の熱意の程 が窺える。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は柏市のガイドラインに沿って3ヶ月に1回開催しているが、外部評価の結果報告や改善への取り組み状況等も含めて、自由な意見交換の中で気づきを得ている。次回からメンバーに民生委員も参加いただく予定である。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>柏市高齢者支援課が主催する講習会や研修会に積極的に参加するとともに、当ホームも参画している柏市グループホーム連絡会の行事には同課から極力出席いただき指導を受けている。又、生活支援課からも2~3ヶ月に1度訪問を受け、利用者に関する相談を行い連携を密にしている。</p>		
<b>4. 理念を实践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月利用者ごとの健康状況や暮らしぶりについて家族宛に手紙を書き、往診記録等も添えている。月刊の「ぬくもりの家便り」は写真が多くグループホームの状況が良くわかると好評である。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に相談や苦情の受付窓口（事業所の窓口、行政の窓口）を明記するとともに、玄関に苦情箱を設けている。家族とのふれあいを大切に、家族来訪時には管理者はシフト外でも極力出勤し、希望や質問を伺って取り入れるよう心がけている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1ユニットの為異動はなく、離職も事業所と職員との信頼関係に支えられ、離職も稀であるが、その際も利用者には十分理解を得て後任にスムーズに引継がれた。「ぬくもりの家便り」には新しいスタッフの紹介記事を載せて、家族にも紹介している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>非常勤職員も含め講習会への参加や資格取得費用は事業所負担とし、シフトも受講を優先させて出勤扱いとする等、職員の育成には積極的に便宜を図っている。又代表が通学している福祉専門学校の学生をアルバイトとして受け入れ、双方の向上心の刺激にもなっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>17事業所が加入している「NPO法人柏市グループホーム連絡会」に参画し、職員も同会主催のスタッフ連絡会には毎回参加している。また、利用者のバス旅行を共同で実施する等交流をはかっている。当ホームへの同業者の訪問には快く応じている。</p>		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>					
<p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居相談時には丁寧に対応し、本人の経歴その他を入居相談受付表に記録し、職員間で情報を共有するとともに、本人や家族がいつでも気軽に来所できるように案内している。家族との連携で職員が入院中の入居希望者を訪問してお誘いする等により抵抗無く入居につなげている。体験入居も歓迎して受け入れている。</p>		
<p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者を支援する立場だけにおかないで、本人の得意な漬物づくりや、家庭菜園などを一緒に行い、お互い教えてもらったり、教えたりしている。この様な関係を築くことから、利用者の不安や喜びを知り、分かちあうことに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日常会話や、行動、表情、訪問に来た家族からの話から希望や意向を把握している。職員は気づいたことは日誌に記入し情報を共有しており、意向の把握に困難な利用者の場合は、夜勤者からの情報や寄り添って過ごすことで見出すようにしている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のスタッフ会議で利用者一人ひとりの課題について話し合い、家族からの意見も取り入れ、常に本人本位の介護計画を作成している。また、介護計画作成担当者は夜勤の中で利用者のニーズを得ることもある。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは3ヶ月毎に定期的に行っている。毎日記入している生活記録表の変化や、状態に変化が見られた場合には即対応し見直ししている。本人、家族からも同意を得ている。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ホームでは、理髪、美容の出張サービス、定期的な機能訓練などの支援が行われている。また、利用者の希望に応じて、馴染みの店への買い物や、成田山参りの外出支援にも対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医の受診には極力職員が同行し支援している。当ホームでは協力病院から月2回の訪問診療もあり、夜間緊急時の対応も依頼している。また、定期的に歯科医師の訪問診療も行なわれている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した利用者がいないためターミナルケアの取り組みは行っていないが、本年度から職員をターミナルケアの研修に参加させたり、協力病院との話し合いを進める等の準備をはじめている。</p>		<p>家族との話し合いや協力病院との連携に加え、同業者の取り組みの調査などから、引き続き利用者が安心して重度化や終末を迎えられるような体制の検討をお願いしたい。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>本人の自尊心を傷つけないよう、言葉かけや対応には特に留意するよう心がけ、職員同士でも「イエローカード」の表現で注意し合っている。個人情報管理は職員に徹底し、個人記録はスタッフルームから持ち出さないことを原則とし、施錠管理を徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の基本的な生活予定は決めているが、強要はせず、入浴、食事等の時間、レクリエーションへの参加等も本人の希望により弾力的に対応している。利用者家族等アンケートでも全員から「柔軟に対応してくれる」との回答を得ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けは、利用者の心身の状況に配慮しながら職員と一緒にしている。季節の行事食には利用者の希望も取り入れ、月1回程外食にも出かけている。又利用者の家族が料理する機会や、馴染みの店の豚カツが食卓にあがることもあり、食事が楽しみなものになっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は週3回入浴できるようになっている。19時30分迄の時間帯での入浴を基本としているが、状況によっては予定時間以外の入浴にも柔軟に対応している。今後の課題として入浴時間帯の延長も検討している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	庭での花作りや家庭菜園、写真好きの方による写真館(展示コーナー)、得意のお漬物や料理作りなど利用者の力に応じた役割りを見出して支援している。喫煙する利用者には喫煙場所もあり、行事の際には飲酒も許可している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	比較的軽度の利用者が多く、外出は自由である。希望者は毎日散歩に出かけ、個人別外出支援も極力対応している。年1回の柏市グループホーム連絡会主催のバス旅行には必ず参加し、近郊ドライブにもよく出かけている。		外出支援には十分配慮しておられるようであるが、利用者家族等アンケートからは、全員が「時々出かけている」の回答に留まっているので、そのギャップの原因を検討していただきたい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	車道に面した門扉は安全の為施錠しているが、門・塀とも低く塀越しに楽に会話も出来る開放感のあるレイアウトである。玄関も通常昼間はドアを開放しており、深夜のみ施錠している。居室には鍵は付いてない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	「ぬくもりの家 消防計画」に沿って年2回夜間及び昼間を想定した防災訓練を実施している（内一度は消防署からも指導を受けている）。訓練には利用者だけでなく、近隣4世帯にも参加していただき非常時への備えをしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の内容は栄養に偏りが無いように配慮されており、食べた量や、水分摂取量は一人ひとりバイタルチェックと合わせて1週間単位で一覧出来る生活記録表に毎日記入し確保している。食事が困難な利用者には食べやすく調理も工夫し、介助もしている。		
<b>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は明るく開放的で、廊下には天窓を設けて採光に配慮している。居室は食堂、居間、台所を囲んで配置され、浴室もバリアフリー、トイレは車椅子対応で機能的な施設である。庭には自由に出られ椅子やテーブルも配置されている。周りに大きい樹木も残りやすらぎが感じられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は共用空間を囲んで南側に5室、北側に4室あり使い易く配置されている。居室への家具などの持ち込みは制限しないで、利用者の使い慣れたものや好みの飾り物を持ち込み、それぞれに自分らしい部屋作りをしている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。